



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社木曽路

上場取引所 東名

コード番号 8160 URL <https://www.kisoji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内田 豊稔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 奥野 慎太郎

TEL 052-872-1811

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	38,770	17.0	1,089		1,128		788	
2023年3月期第3四半期	33,132	22.6	1,133		1,092		1,288	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 986百万円 (%) 2023年3月期第3四半期 1,126百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	28.00	
2023年3月期第3四半期	46.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	48,660	27,865	57.3
2023年3月期	48,412	27,331	56.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 27,865百万円 2023年3月期 27,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		8.00		8.00	16.00
2024年3月期		8.00			
2024年3月期(予想)				10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	14.3	2,000		2,020		1,250		44.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外 1社 (社名) 株式会社大將軍

(注) 株式会社大將軍は、2023年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	28,543,889 株	2023年3月期	28,543,889 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	383,233 株	2023年3月期	382,119 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	28,161,198 株	2023年3月期3Q	27,976,431 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）におけるわが国経済は、昨年4月29日に入国制限等の水際措置が終了したことによるインバウンド需要の増加、5月8日をもって新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを5類に移行されたこと等により、人流も増加し個人消費は回復基調にあります。

外食産業におきましては、ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー価格高騰と円安を背景に輸入食材や肥料等の価格が上昇したことで食料価格の高騰、人手不足による時給・時間数の上昇等が懸念され、企業活動を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、引き続きご来店いただけるお客様に安心してお食事を楽しんでいただけるよう努めております。

営業面においては、主力業態であるしゃぶしゃぶ・日本料理の「木曾路」部門は付加価値の高い料理・サービスを手頃な価格で提供すること及び店舗教育の推進により営業力を強化しました。また、第2の柱としての焼肉部門の強化と経営資源の集中を図るため、中部地区で展開していた焼肉の「じゃんじゃん亭」を「くいどん」へ業態転換を行いました。さらに、中部地区と東日本地区と一体的な販売促進の実施、木曾路ブランドを活かした業態の認知向上に努めてまいりました。

費用面においては、客数予想をもとにしたシフト管理の徹底等により人件費をコントロールすると共に、新規仕入先との取引を積極的に推進し原価低減を図る等、経費削減に努めました。

また、2023年7月1日に株式会社木曾路は子会社である株式会社大將軍の吸収合併を行いました。この吸収合併により、管理部門などの重複する業務を統合して業務効率化に努めてまいります。更に企業規模の拡大により業務の対応範囲を拡張し生産性向上に繋げて収益力アップを図ってまいります。

店舗展開、改築・改装につきましては、1店舗の出店、7店舗の改装（うち業態転換5店舗）及び2店舗の退店を実施し、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は192店舗となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、387億70百万円（前年同期比 17.0%増加）、営業利益は10億89百万円（前年同期実績 11億33百万円の損失）、経常利益は11億28百万円（同 10億92百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億88百万円（同 12億88百万円の損失）となりました。

なお、働き方改革の一環として当社グループ全体で、5月8日、9日の2日間、全店一斉休業を実施しました。今後も働き易い魅力ある企業作りにも努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

	前連結会計年度 (2023年3月31日現在)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日現在)	増 減
総資産（百万円）	48,412	48,660	247
純資産（百万円）	27,331	27,865	533
自己資本比率（%）	56.5	57.3	—
1株当たり純資産（円）	970.53	989.51	18.98

当第3四半期連結会計期間末の総資産は486億60百万円（前連結会計年度末比 2億47百万円の増加）となりました。この主な内訳は、流動資産が214億89百万円、有形固定資産が169億98百万円、無形固定資産が27億19百万円、投資その他の資産が74億52百万円であります。前連結会計年度末からの主な増加要因は、季節的な事由により売掛金が9億96百万円、原材料及び貯蔵品が11億91百万円、固定資産が3億56百万円増加する一方、現金及び預金が22億13百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は207億94百万円（同 2億85百万円の減少）となりました。この主な内訳は、流動負債が172億28百万円、固定負債が35億66百万円であります。前連結会計年度末からの主な減少要因は、季節的な事由により買掛金が10億77百万円増加する一方、借入金の返済により10億63百万円減少したことによるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は278億65百万円（同 5億33百万円の増加）となりました。この主な内訳は資本金が126億48百万円、資本剰余金が124億67百万円、利益剰余金が33億34百万円であります。前連結会計年度末からの主な増加要因は、利益剰余金が3億38百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.3%（前連結会計年度末は56.5%）、1株当たり純資産額は989.51円（同 970.53円）となりました。

(部門別売上高)

部門	事業内容	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	前年同期比 増減率
木曾路 部門	しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曾路」	26,050百万円	30,568百万円	17.3%
焼肉部門	特選和牛の「大將軍」 国産牛焼肉の「くいどん」	5,901	6,001	1.7%
その他 部門	居酒屋（「とりかく」、「大穴」）	587	803	36.8%
	和食 しゃぶしゃぶの「鈴のれん」	444	507	14.1%
	その他	278	1,195	329.1%
調整額		△130	△305	—
合 計		33,132	38,770	17.0%

(注) 部門別売上高は連結取引高の相殺消去前の数値であります。

木曾路部門

しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曾路」業態は、2店舗の改装を行い、当第3四半期連結会計年度末店舗数は126店舗となりました。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけも5類に移行し、国内の人流回復、消費動向の変化にも対応すべく、大型宴会に代わる個人需要の取り込みとして、慶事需要の強化、季節を先取りしたフェアの実施による来店動機づくりとともにTVCMを実施しました。また引き続き、お持ち帰り需要に対応した著名料理人とのコラボ弁当、定番弁当のブラッシュアップやご自宅でお楽しみいただける「しゃぶしゃぶセット」等の販売に努めました。

その結果、売上高は305億68百万円（前年同期比 17.3%増加）となりました。

焼肉部門

特選和牛の「大將軍」及び国産牛焼肉の「くいどん」は、1店舗の出店、4店舗の改装（うち業態転換4店舗）を行い、当第3四半期連結会計年度末店舗数は49店舗となりました。

東日本地区では、8月に1店舗の新規出店、中部地区では上期に「じゃんじゃん亭」から「くいどん」への業態転換を4店舗実施し、営業体制の再構築を行いました。7月1日付の吸収合併により、東日本地区・中部地区一体で営業活動、販売促進を実施、また木曾路ブランドを活かした業態の認知向上に努めてまいりました。

改装による休業を行った一方、来店客数が増加したこと等により、売上高は60億1百万円（同 1.7%増加）となりました。

その他の部門

居酒屋（「とりかく」、「大穴」）業態は、1店舗の改装（うち業態転換1店舗）と1店舗の退店により当第3四半期連結会計年度末店舗数は7店舗であります。宴会需要が回復し来店客数が増加したこと等により、売上高は8億3百万円（同 36.8%増加）となりました。

和食 しゃぶしゃぶの「鈴のれん」業態は、店舗の異動はなく、当第3四半期連結累計期間末店舗数は5店舗であります。当期は来店客数が増加したこと等により、売上高は5億7百万円（同 14.1%増加）となりました。

その他業態は、食肉加工卸売、からあげ専門店の「からしげ」、外販（しぐれ煮、胡麻だれ類）及び不動産賃貸等であります。前連結会計年度に株式会社建部食肉産業を子会社化したこともあり、売上高は11億95百万円（同 329.1%増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年2月13日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,220	15,006
売掛金	1,743	2,740
商品及び製品	51	62
原材料及び貯蔵品	1,948	3,139
その他	637	542
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	21,598	21,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,019	8,592
土地	6,175	6,165
その他（純額）	2,142	2,241
有形固定資産合計	16,337	16,998
無形固定資産		
のれん	1,831	1,694
その他	1,063	1,024
無形固定資産合計	2,894	2,719
投資その他の資産		
差入保証金	4,201	4,155
その他	3,409	3,327
貸倒引当金	△28	△30
投資その他の資産合計	7,582	7,452
固定資産合計	26,813	27,170
資産合計	48,412	48,660

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,228	2,305
短期借入金	4,500	4,500
1年内返済予定の長期借入金	5,360	5,253
未払法人税等	70	308
資産除去債務	22	5
賞与引当金	531	270
その他	4,465	4,584
流動負債合計	16,178	17,228
固定負債		
長期借入金	1,631	674
退職給付に係る負債	947	972
資産除去債務	1,314	1,316
その他	1,008	603
固定負債合計	4,901	3,566
負債合計	21,080	20,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,648	12,648
資本剰余金	12,467	12,467
利益剰余金	2,996	3,334
自己株式	△932	△934
株主資本合計	27,180	27,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138	342
退職給付に係る調整累計額	12	6
その他の包括利益累計額合計	151	349
純資産合計	27,331	27,865
負債純資産合計	48,412	48,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	33,132	38,770
売上原価	10,849	12,496
売上総利益	22,282	26,274
販売費及び一般管理費	23,416	25,184
営業利益又は営業損失(△)	△1,133	1,089
営業外収益		
受取利息	18	18
受取配当金	35	36
助成金収入	28	—
その他	39	27
営業外収益合計	121	82
営業外費用		
支払利息	32	31
賃貸借契約解約損	30	3
その他	18	8
営業外費用合計	81	43
経常利益又は経常損失(△)	△1,092	1,128
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除売却損	163	167
特別損失合計	163	167
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△1,254	961
法人税、住民税及び事業税	112	211
法人税等調整額	△78	△38
法人税等合計	34	173
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,288	788
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,288	788

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,288	788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163	203
退職給付に係る調整額	△1	△5
その他の包括利益合計	162	198
四半期包括利益	△1,126	986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,126	986
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社であった株式会社大將軍を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったため、連結の範囲から除外しております。